

Capo. 0 1-2il C
Capo. 5 1-2il G

明日も晴れるかな

G D Em D Am G D D7
 * C G Am G Dm C G G7
 今日もあと少しだけ 暗くなってゆくまでの

G D Em D Am D G D7
 C G Am G Dm G C G7
 綺麗な西の空 明日も晴れるかな **

G C Am D Am G C
 振り返ってみて 大したことではないで

A Em F C
 気がついた今 夜のひとりで

A Dm D G
 休息が与えられる

A Dm G D Am G C
 やる気に頼らないで 目の前のことだけ

A Em F C
 いやおうなく手かっていた

A Dm D G C
 知らないうちに ジェント

* ほのかにオレンジの 白く眩しい空を

見つめるひととき 明日も晴れるかな **

このころの毎日 なんとなく過ぎてゆく

もしもしたくはいいこと

落ち込むことなくて

気がつかないだけで やれることあるだけで

少しずつの頑張り続け

やがて何かか 成り立つ

(*~**) くりかえし

(*~**) 〃

言葉先うほど

Dm G C Am Dm G C

言葉先うほど 自然のアート

C 舞い散る落ち葉に 水鳥が動く

Am G F E7 鏡のような水面いっぺい

Am G F G C 日暮水前の空 一面に広がる

Dm G C Am Dm G C いはらく佇んで 上下対称、ピラマ

Am G Em Am おそろしいほど 水の輝き

Am G Dm G C 浮かび上がる 仮想の空間

Am G Em Am おそろしく同じ 思い描いて

Am G Dm G C 訪れる人 それを見つめる

やっこの思いいで訪れた景色

映像とは違う五感で触れ合う

随分前から浮かしてた風景

想像した色とは違ってたけれど

いはらく佇んで 絵画の世界惹かれる

神秘に映る 色づく林

立ち入りたがった冊から眺める

汚れることない 守られたもの

訪れる人 それを見つめる

Capo. 3 オ-7=D
Capo. 5 1-7=L Am

Dm

月の世界

Am F#m G. O Brn F#m G. O
Am Em Dm C Am Em Dm C

* いとけうらに 老いもせすなし
 思うこともなくはべるなり
 誰かが憧れる 世界には違いない **

死なずに死ぬがに 悔むこともなく
 永遠に生まることできるのかな

終わりがあるかう人は頑張れる
 頑張ることから悩み生まれる
 清らかなままで 老いることもなく
 生きていたいのはそのうらやど

いとおし悲しと
 おぼれつることもうせぬ
 全てを消し去ってくれる天のはころも

恨みや妬がなくなる代わりに
 執着や愛も生まれなくなる

愛があるかう人は頑張れる
 頑張りが終わった次の苦しみ
 怒ることもなく悲しむこともなく
 生きていたいのはそのうらやど

(* ~ ** くりかえし)

秋雨

0 7 Bm 5 5 0 7
秋雨が 心に降る

Bm 7 Bm 5 5 7 0 7
どこか 哀しげで 心落ち着く

Bm 5 Bm
季節を すっかり 入れ替える

Bm 5 7
降りつづく 日が 過ぎるたび

0 5 5 7
手にした カップ 静かに コーヒー

0 5 7 0 7 Bm 5 7
すする音も 雨に 流れゆく

Bm 5 7 0
今年あった出来事 思い 起す可と同時に

Bm 5 7 0
良かったと思うこと 過去になつてゆく 実感...

秋雨が 心に降る

どこか 哀しげで 心落ち着く

雨が降るたびに 寒くなる

時折 吹く風 過ぎるたび

手にした 傘の 雫が 首筋

あたる 冷たい 雨に 流れゆく

今年あった出来事 残す記憶にするために

悪かったと思うこと めんも美化して 実感...

ろうそくのおかり

C A_m C A_m C A_m C A_m

C A_m C A_m
姿を見ていると昔を思...出す

C A_m C A_m
ほんのり暖か...穏やかなあかりで

G_m F G_m C_m F B^b D
それまで暗かった部屋の中だけでなく

G_m F G_m C_m F B^b
濃した気持ちもふっと和らげる

C_m B^b E^b B^b
心が癒れてすさんでしまってる

C_m B^b E^b G_m
どうにか明日を迎えられるように

C[#] A_m C[#] A_m C[#] A_m C[#] A_m

C[#] A_m C[#] A_m
やり場のなかつた見つめるころまで

C[#] A_m C[#] A_m
燃えるその中に視点与えてくれる

G[#]_m F[#] G[#]_m C[#]_m F[#] B D[#]
ギクシャクしている二人の会話ですら

G[#]_m F[#] G[#]_m C[#]_m F[#] B
目を合わさなくて話しやすくなる

C[#]_m B E B
ろうそくのおかり 照らすものすべてが

C[#]_m B E G[#]_m
自分の顔でさえ優しく見えている

影のうつろい お互い眺めては

存在感じるゆらぎの中に

Capo. 4 オ-7°D
Capo. 5 1-2RLC

なりのきで

0 5. 5 7 0 5. 5 7 0
C Dm F G C Dm F G C

振りのえるこいつの間にか知らずのうちには
Bm 0 5. 5
Am C Dm F

その場しのぎのなりのきで
G 7 5. C G 7
Dm C

自分のこともわからず
Bm 0 5. F 5
Am C Dm

こころをきたそうた
G 7 C 0 G 7

一所懸命な時もどにか冷めていた
C 0 5. F 5 C 0
Dm F

こころをなすと思いつつ忘れることもあった
C 0 5. F 5 C 0
Dm F

ありつたけを尽くし思いつくまで
Bm 5. 5 7 C 0
Am Dm F G

そればかりだったか わからずにいる
Bm 5. 5 7 Bm
Am Dm F G Am

振りかえるこいつの間にか知らずのうちには

気のたぐまの思いつきだけで

あと先のことも考えずに

ここまで来たように

一世代と言われてもどにか冷めていた

こころを正念場と思いつつ何かをシラけていた

できること全てさらけ出してみても

そればかりだったのか わからずにいる

落ち葉いろの大地

C An F G C An F G

C
夏が過ぎて 寒く^GなってゆくAn F C
今年の緑の終わりがC G
最後の命注ぎ込む^GようにAn F C
いきいきとした大地へF An
気持ちよく舞い上がるDm C
空気を思わせる落ち葉にF An Dm C
冬仕度の虫たちも暖かく囲まれるC Dm Em G C
そうだったやりの残したまよめ^Gの^C今年も終わりC Dm
あれこれと手を付けてEm G C
何もできないまま過ぎてゆく

誰からも 忠告されたい

この歳になつた 戒めに

カラフルな色に化粧された

落ち葉いろの大地に散れる

これまでやってきたことよ

これから何かできるのか

モーションになるまでの 残された時間に

裏りの証伝えること考えが、と虚しく終わる

あたふたとしてるだけで

何もできないまま 過ぎてゆく